

田正之未修

王羲之臨胡桃帖(唐敦煌本臨書 フランス国立図書館蔵)

中国内外の作品、総一四八件を収録する決定版。

言世孫欠つ小當一

故宮博物院

▼編修▲

〔監訳〕河内利治

大東文化大学教授

王羲之王獻之書法全集

80セット
限定出版

ゆまに
YUMANI
SHOBUN

宋拓黃庭經(清孫堂之旧藏本 上海圖書館蔵)

形出入二竅含黃庭呼吸壺間見吾形
強我勸骨血脉盛恍惚不見過清
玄靡過清靈問我仙道與音方
素距丹田沐浴華池生靈根
之可長存二存相得開命門五
常能行之可長生

智通無累神測未形超六塵

而迥出隻千古而無對凝心

内境悲正法之陵遲極靈玄

門慨深文之訛謀思欲分榮行

理廣彼前聞截流續真

北宋拓懷仁集王羲之聖教序(故宮博物院蔵)

豪華愛蔵版

A3判変型(三八五mm×二五五mm)／オールカラー
線装・経摺装(折り本)／各巻帙入り

晋王獻之地黃湯帖

新婦服地黃湯來似

城賦念為未往夏

王獻之地黃湯帖(台東区立書道博物館蔵)

序文

言恭達

中国書法家協会副主席

中国書法史上、王羲之と王獻之は、「二王」と呼ばれ、比類のない存在である。わけても王羲之は、善美を尽くした書法芸術を創り上げた、東晋時代を代表する書家である。長い歴史の中で、彼らの書法が後世に与えた影響は絶大で、その評価は唐代に頂点に達し、中国書法の最高峰と称されるまでに至った。

現代においても、芸術としての書が発展、深化するにつれ、二王は再び注目を浴びている。その書法を学び、研究し、称賛することがもはや書壇の潮流となり、「新帖学」などと呼ばれている。こうした状況は、二王書法の芸術的魅力がいつの時代も不変であることを、あらためて証明している。しかし、さまざまな技術的制約があった時代においては、二王書法の全貌を正しく、素早くかつ深く理解することは難しかった。近代以降の印刷技術の発展により、二王書法に関する出版物が増えているものの、その多くは翻刻、転刻を繰り返したために質が悪く、二王書法を深く理解し、その全容を把握することは困難である。こうした状況は、二王書法の歴史的価値や芸術性の高さに見合わないばかりか、書法の学習者や研究者からの要望に応えるものでもなく、悲しむべきことである。今回、故宫博物院と言恭達文化基金会が共同出版する『王羲之王獻之書法全集』は、現在に伝わる二王書法の世界をほぼ網羅し、二王書法の全貌を初めて世に示すものである。これは美術出版界にとっても一大事業であるとともに、現代書法界にとっても一大事件である。本全集の出版は、芸術的側面からも学術的側面からも、重要な意義をもつ。

本全集は全十八巻で、「碑刻」、「法帖」、「法書」の各部から構成され、「法帖」はさらに、「集帖」、「単帖」、「專帖」からなる。故宫博物院、中国国家博物館、中国国家図書館、上海博物館、上海図書館、天津博物館、開封博物館、遼寧省博物館、南京大學、京都国立博物館、東京国立博物館、プリンストン大学、大英図書館、フランス国立図書館、および香港や台湾などの博物館から収蔵品の情報を広く収集したことにより、行書、草書、楷書の芸術的世界を、極めて豊かかつ見事に示すことができた。

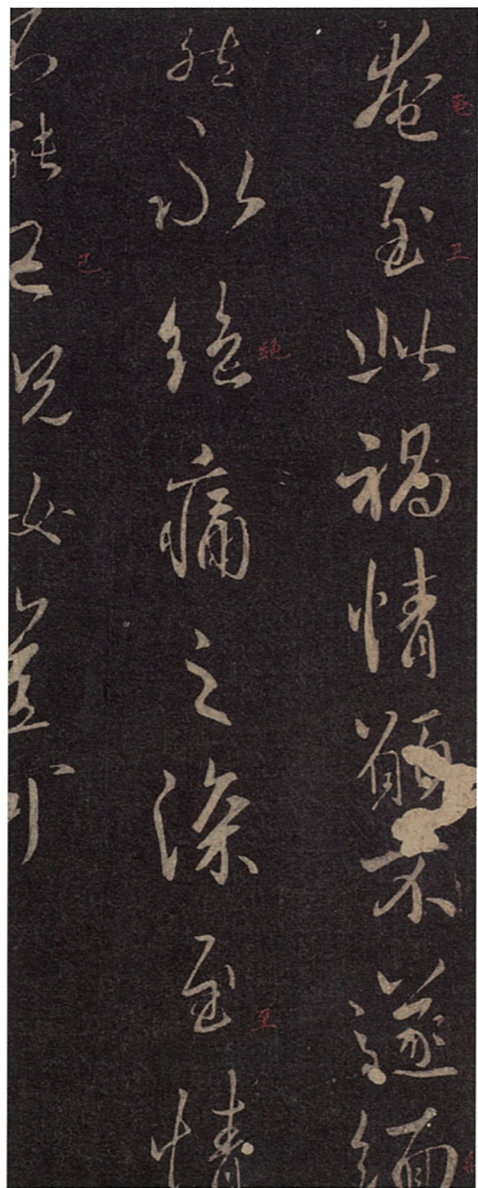
本全集の出版は、二王書法の学習者や研究者に、きわめて貴重な手本や文献資料を提供するだろう。図版はすべて原物を撮影した上で、最先端の印刷技術、それに見合う上質な紙、装丁が用いられている。このため、古典作品の魅力がありありと感ずることができ、二王書法の真髄と、真跡に迫る神韻を味わうことができる。また、二王作品のさまざまな版本をほぼすべて収録した。たとえば、「集王聖教序」は、中国国家博物館、天津博物館、上海図書館などから、「十七帖」は、開封博物館、京都国立博物館などから二十種以上を集めた。とくに二王書法が収録されている「淳化閣帖」、「絳帖」、「大観帖」、「澄清堂帖」の異なる版本を一同に掲載したことは、二王書法の歴史的変遷を研究するうえで貴重な資料となるだろう。

本全集の出版が可能になったのは、世界各地の収蔵機関からの全面的支援と協力のおかげであり、故宫博物院と言恭達文化基金会が共同で作業を推進した結果である。本全集の出版は、二王書法の学習と研究を加速させ、現代書法芸術の発展と繁栄に確かな貢献をなすものと信じる。

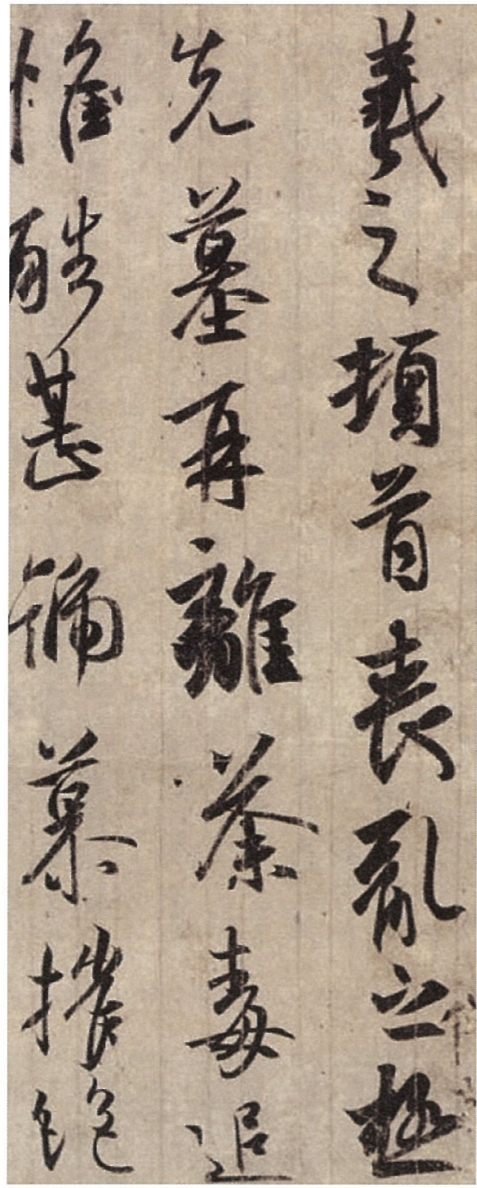
二〇一四年十二月南京にて

前者には王羲之書法二十巻を列挙した名

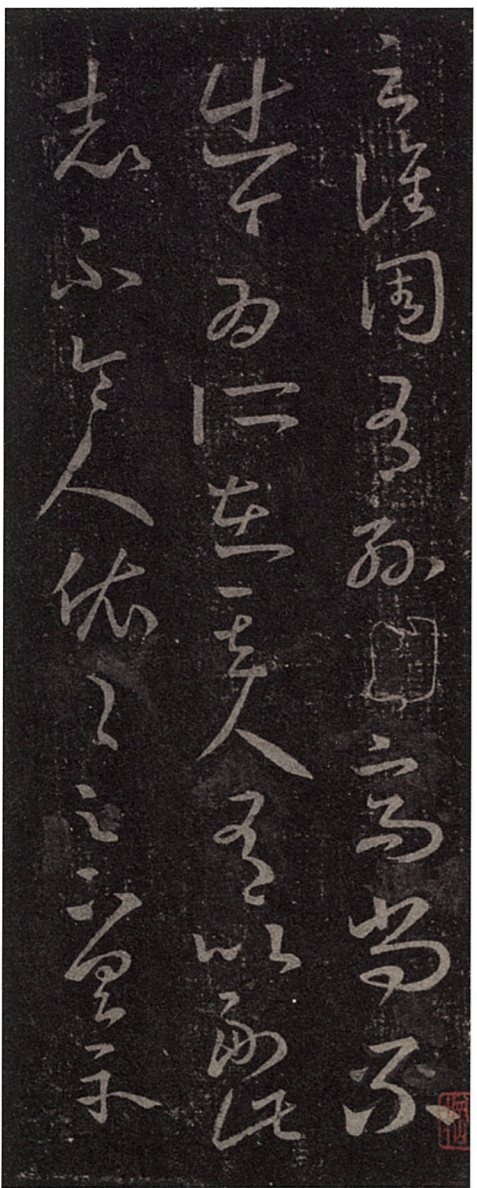
ると、「皇朝類苑」が伝えている。



宋拓 王右軍六十帖 (故宫博物院蔵)

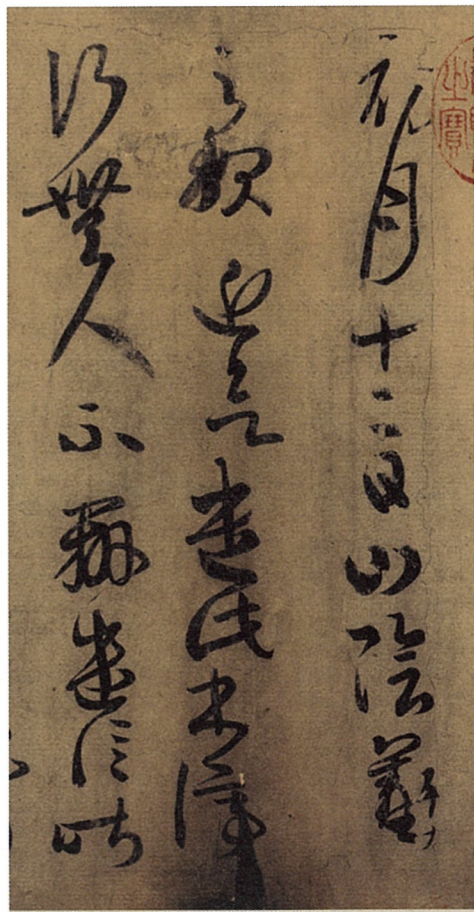


王羲之喪乱二謝得示三帖 (宮内庁三の丸尚蔵館蔵)

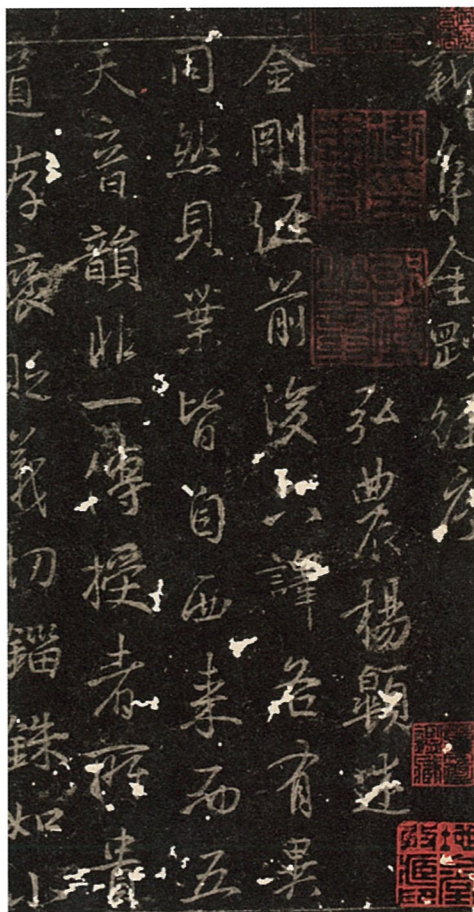


宋拓 十七帖 (京都国立博物館蔵)

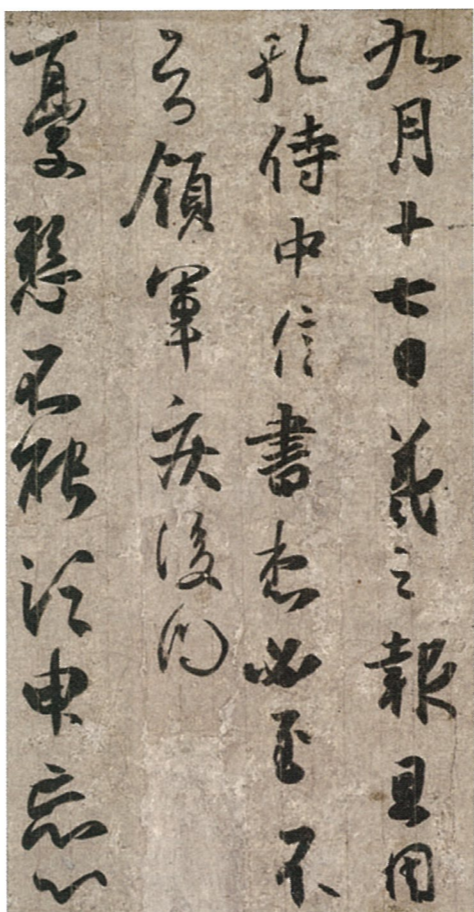
王氏一門書翰 (万歳通天進帖 遼寧省博物館蔵)



宋拓 唐新集金剛般若波羅蜜經 (故宫博物院蔵)



王羲之孔侍中憂懸哀禍三帖 (前田育徳会蔵)



本書の特色

故宮博物院による総力編纂。中国内外の「二王」書法の世界をほぼ網羅。

北京の故宮博物院が、総力を挙げて中国内外の収蔵機関の作品・資料を博搜。収録した「二王」関連の文物は百四十八件。

原本を新たに撮影し、原寸大カラーで収録した極めて鮮明な図版。

より鮮明な図版を提供するべく、収録作品中、現存するものは全て原本を新たに撮影し直し、原寸大カラーで収録（総覧「法帖附録」を除く）した。新たな構成を採用、目指す情報にすぐにたどり着くことができる。

現存する宋代の原刻本を網羅。

宋代の碑刻や拓本は、「二王」真筆の気韻をよく伝えるものである。これにより宋代の原刻本であれば、紙の破れや欠損部分まで漏らさず原寸大で収録した。例えば、王羲之の草書「十七帖」などは、中国国内で最高とされている開封博物館所蔵のものに加え、伝拓が精緻で保存状態もよく、多くの優れた点が見られる、京都国立博物館所蔵の上野本も収録した。

風格が異なるものを全て収録。

同じ書作品でも、刻帖によって、その風格がそれぞれ異なる。今日、「二王」の書を学ぶにあたって同時に多くの側面から学ぶようにすれば得るものも多く、偏った面だけ取れば損失も多くなるだろう。そのため全集では、同じ書でありながら風格が異なる諸帖を可能な限り網羅し、収録した。

『王羲之王獻之書法全集』への期待

京都大学名誉教授
興膳 宏

王羲之は「書聖」として仰ぎ見られる高峰だが、もちろん生まれながらにして聖だったわけではない。六世紀南朝梁のころには、王羲之はすでに息子の王獻之と共に「二王」としてひととき高く評価されるようになっていたらしいが、唐初に至って、その地位は揺るがぬものとなった。彼の書は種々の観点から見てパランスの取れた総合力において傑出するというのが、批評家たちの一致した見解だった。かくて、唐太宗の「尽善尽美」つまり完璧な書という賛辞が定着し、それがやがて「書聖」の評語に凝集する。

ところが、何とも皮肉なことに、このころ王羲之の真跡は世界から姿を消してしまふ。羲之の書がその後にとった運命は、まさに彼の真跡を求める人々の執念の歴史といってもよい。まず法書でいえば、巧緻の限りを極める唐代の模本がある。それらは「双鉤填墨」という敷き写しの技法を用いたもので、原本の字形をきわめて忠実に再現している。「蘭亭序」「喪乱帖」など、筆者の息づかいの

この度の『王羲之王獻之書法全集』は、時代と共に拡散しがちな「二王」の真を、信頼できる作品の可能な限り鮮明な図版を提供することによって、もう一度原点に回帰して見直そうとする企画である。後世の我々は、「二王」の森に迷わぬために、この上なく卓越した導き手を得たといえるだろう。

『王羲之王獻之書法全集』推薦の辞

京都教育大学・四国大学名誉教授・書論研究会会長
杉村邦彦

王羲之の法書を集成して「全集」などと呼ぶ書籍は、これまでも数種が刊行されて来た。それらの中で最も完備したものは、昭和五十七年六月に東京美術が宇野雪村氏を編集代表として刊行した『王羲之書蹟大系』である。私は、この『大系』の「解説・研究篇」に編集部的重要請に応じ、「王羲之の生涯と書について」、「琅邪臨沂王氏世系表」などを執筆したという経緯もあって、懐かしい。日本の内外にある王羲之の墨跡や法帖などを広く集成し、「解説・研究篇」、「解題篇」、「鑑賞篇」も備えた、文字どおり王羲之書法の初めての全集であり、当時中国にもこれほど完備したものはまだなかった。

ところで、このたび故宮博物院が総力を挙げて『王羲之王獻之書法全集』全十八巻を編修し、その日本語版を科学出版社東京株式会社が刊行して、ゆまに書房が発売することになった。その内容見本を一覧すると、中国内外に収蔵される王羲之と王獻之の法書など百四十八件を広く網羅して原寸大のカラーで収録し、その第一巻「総覧」には総目録、概論、図版目録、図版解説、釈文などを掲載する

通う迫真の筆勢を伝えており、見ている思わずため息がでる。その模写技法自体が優れた芸術と呼ぶに値する。次いで現われたのが、宋代の碑刻拓本である。これもよくできたものは、「衆毅論」など、ほればれとして引きまされる。ただ、同じ作品の拓本なのに、よく見ると、そのできばえに微妙な個性の違いが垣間見えるのが興味深い。そしてそれらが法帖として普遍化するに伴って、個性の違いもまた歴史として多様化する。王羲之の真なるものを追求した結果として、拓本相互の間に感覚の開きが出てくるのも、またやむを得ぬ現象なのだろう。

千載一遇の貴重資料

東京国立博物館名誉館員
古谷 稔

わが国には古くから「二王」との接点が見える。奈良時代の宮廷において王羲之・王獻之「二王」の書法が流行したことは、正倉院宝物の「東大寺献物帳」五種のうち、「国家珍宝帳」や「大小王真跡書」などの記載によって明らかである。前者は王羲之書法二十巻を列挙した各

より書風の樹立を遂げている。このほか、行成と同時代に入宋した密教僧・寂照も王書をよくし、大陸で名声を得ている。在宋中の寂照に対して藤原道長ら三人により、書信が海を渡って届けられたが、これらの書は「二王之迹」を踏襲してい

『各巻の収録内容』

●第一巻 総覧

総目録／概論／図版目録／図版／図版解説／釈文／ほか

●第二巻 碑刻

中国国家博物館藏 宋拓懷仁集王羲之書聖教序
天津博物館藏 宋拓墨皇本集王羲之書聖教序
中国国家図書館藏 集王羲之書興福寺斷碑

●第三巻 碑刻

上海圖書館藏 北宋拓懷仁集王羲之書聖教序
故宮博物院藏 北宋拓懷仁集王羲之書聖教序
故宮博物院藏 宋拓唐新集金剛般若波羅蜜經

●第四巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓懋勤殿本淳化閣帖 卷六～卷八

●第五巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓懋勤殿本淳化閣帖 卷九・卷十

●第六巻 法帖

上海圖書館藏 宋拓紹興國子監本淳化閣帖 卷九

●第七巻 法帖

上海博物館藏 宋拓安思遠舊藏本淳化閣帖 卷六～卷八

●第八巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓馮銓舊藏本絳帖 前卷六～卷十・後卷三～卷七

●第九巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓蘭亭統帖 卷三

●第十巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓孫承沢旧藏本澄清堂帖 卷一・卷三・卷四

●第十一巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓那侗旧藏本澄清堂帖 殘帖

●第十二巻 法帖

上海圖書館藏 宋拓寶晉齋法帖 卷二～卷七

●第十三巻 法帖

香港中文大學藏 宋拓泉州本淳化閣帖

●第十四巻 法帖

上海圖書館藏 宋拓泉州本淳化閣帖 卷六～卷十

●第十五巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓泉州本淳化閣帖 殘帖

●第十六巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓泉州本淳化閣帖 殘帖

●第十七巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓麻紙淳化閣帖 卷六～卷十

●第十八巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓麻紙淳化閣帖 卷七～卷十

●第十九巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓銀錠本淳化閣帖 卷六～卷八

●第二十巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓王著本淳化閣帖 卷九

●第二十一巻 法帖

中国国家図書館藏 遵訓閣重摹淳化法帖

●第二十二巻 法帖

故宮博物院藏 元拓淳化閣帖 卷六～卷十

●第二十三巻 法帖

故宮博物院藏 明拓泉州本淳化閣帖 卷六～卷十

●第二十四巻 法帖

故宮博物院藏 明刻清未拓淳化閣帖 卷六～卷十

●第二十五巻 法帖

故宮博物院藏 明刻明拓淳化閣帖 卷六～卷十

●第二十六巻 法帖

故宮博物院藏 明刻清未拓淳化閣帖 卷九・卷十

●第二十七巻 法帖

故宮博物院藏 宋拓大觀帖（陳威題簽本）

●第二十八巻 法帖

故宮博物院藏 墨拓大觀帖（楊應詢跋本）



- 第一巻 総覧
- 第二巻 碑刻
- 第三巻 碑刻
- 第四巻 法帖
- 第五巻 法帖
- 第六巻 法帖
- 第七巻 法帖
- 第八巻 法帖
- 第九巻 法帖
- 第十巻 法帖
- 第十一巻 法帖
- 第十二巻 法帖
- 第十三巻 法帖
- 第十四巻 法帖
- 第十五巻 法帖
- 第十六巻 法帖
- 第十七巻 法帖
- 第十八巻 法帖
- 第十九巻 法帖
- 第二十巻 法帖
- 第二十一巻 法帖
- 第二十二巻 法帖
- 第二十三巻 法帖
- 第二十四巻 法帖
- 第二十五巻 法帖
- 第二十六巻 法帖
- 第二十七巻 法帖
- 第二十八巻 法帖

品目に「搨」字を冠しており、それらが透き写しによる双鉤填墨本と理解できる。その一部と見られるものが「喪乱帖」「孔侍中帖」の名で現存し、聖武天皇や光明皇后はそうした搨模本で学び、それぞれの自筆本にも影響が及んでいる。後者は大小王すなわち「二王」の真跡書と窺える。遣唐使を初めとする国際交流によって大陸の文化がもたらされて以後、日本列島において書がどのように開発されたのかは重要な課題である。

平安初期に空海の活躍を経て、中期には小野道風から藤原行成へと書の流れが把握され、和様書道の確立を見る。かれらはいずれも王書に学び、独自の方法に

『王羲之王獻之書法全集』刊行の一大壮挙

日展会員・筑波大学教授
中村伸夫

あろう。

破綻をも即妙の気転でこの上なく美しい造形に変えてしまう魔術師のごとき書法の天才王羲之。もしこの人物がこの世に生まれなかったら、四世紀以降の書の歴史はどのような歩みをもって今日に及んだであろうか。そもそも書は果たして誰の力で芸術としての地位を築くことができたか。精密機器の部品のように精巧な点画によって構成された美麗な文字が並ぶ「集王聖教序」。この稀代の絶品が存在しない書の歴史を想像するというのは容易なことではない。しかし、たった一人の天才の仕事の大きさを改めて考えようとする時、このような愚問を発して空想をめぐらすことも決して無意味ではあるまい。

王羲之の書は唐代のはじめに一大典型として神聖視されるようになって以来、無数の信奉者によって称賛されてきた。その代表格の一人である孫過庭は名著「書譜」の中で、彼の書について様々な言葉をもって賛美を尽くしている。のみならず孫過庭が揮毫した「書譜」の筆跡そのものが、天才の技法に肉薄した実践の跡であることは誰もが認めるところで

二王の全貌を網羅する一大資料集成

跡見学園女子大学教授・全国大学書道学会理事長

横田恭三

二〇世紀後半から今日まで考古学的発掘が増加し、その成果を受けて古代文字に注目が集まっている。とはいうものの、学書者が書法研究や作品制作を深める上で、王法の学習を避けて通ることは考えられない。

今回、北京の故宮博物院が総力を挙げて『王羲之王獻之書法全集』を編集した。碑刻・法帖・法書の各分野の内容を見ると、中国内外の著名な作品をほぼ網羅したもので、総計一四八件が収められている。日本では、ゆまに書房とタイアップした科学出版社東京（株）が第一巻「総覧」の版權を買い取り、その監訳を大東文化大学教授の河内利治氏が担当している。河内氏は中国書法史と書法美学に造詣が深いだけでなく、現代中国語にも精通した方である。

ところで、かつて東京美術より『王羲之書蹟大系』が上梓されたが、これは喪乱帖・敦煌石室本までの墨蹟三〇種のほか、小楷・蘭亭序・集王書の諸碑・十七帖・淳化閣帖などの項目を立て、およそ

以上、「二王」に対する日本書道史に関わる一端を例示したに過ぎないが、ほかにも「二王」に関連した研究には精密な図版資料が欠かせない。

本全集が北京・故宮博物院の総力編修に成るもので、前述の双鉤填墨本では味わえない、精巧な宋拓原本を新たに撮影し、原寸大カラー図版により、現存する宋代の原刻本をすべて収録している点で二十一世紀ならではの画期的な企画と目され、さらに、河内利治教授の監訳が添えられる点においても、書の研究者や愛好者にとって、千載一遇の貴重な資料となりうるであろう。

あろう。

その五体投地の賛美と追隨に至る前提として、果たして当時の孫過庭は、王羲之の書のどのようなものを観たり学習したりしたのだろうか。「樂毅論」「黃庭經」「蘭亭序」など、「書譜」の中でみずから特筆している作例を観ていたことは確実として、たとえば「書譜」が執筆される五十年ほど前に作られた褚遂良撰「石軍書目」に記録されている書跡群、あるいは民間の好事家の間に伝わっていた書跡群のうちの一体だけだけのものを観ることができたのだろうか。

このたび河内利治氏の監訳による故宮博物院編修『王羲之王獻之書法全集』が世に出ることになった。各所に分散する多くの宋代の原刻本もふくめて、現存する王羲之と王獻之の書を、全十八巻に原寸原色で網羅したものであるという。孫過庭のみならず、歴代の「二王」崇拜者が誰一人として体験できなかったことを、我々はこの出版物によって体験できることになった。一大壮挙が実現されたことを喜びたい。

九〇種を収録したものであった。編集代表の宇野雪村はその序文で「現存する資料を体系的に網羅して大蔵経的な資料集成を企画した」と記しているように、乾・坤の二帙と解説篇をセットにした画期的な出版であった。

それから三〇数年を経た今日、これまでの類書を凌駕する量と質とを備えた、まさに二王の一大資料集成が刊行されたのである。王獻之の書を含めてではあるが、その総量は『王羲之書蹟大系』の一・五倍を超える。特筆すべきことは、現存のものほすべて撮影し直して原寸大のカラーで再現しただけでなく、碑刻や拓本においては現存する宋代の原刻本を網羅していることである。また書の風格が異なるものを可能な限り収録していることも大いに評価できる。王羲之王獻之の全貌を探るにはまたとない内容を備えたものといえよう。

本全集の発刊によって二王の研究に新たな光が差し込むことを期待したい。



故宮博物院藏 明刻明拓大玉煙堂帖卷五・卷八

故宮博物院藏 快雪堂法帖卷一

故宮博物院藏 墨拓翰香館帖卷二

故宮博物院藏 懋勤殿法帖卷八・卷十

中国国家図書館藏 海山仙館摹古帖卷一・卷五

第十四卷 法帖

開封博物館藏 宋拓十七帖

京都国立博物館藏 宋拓十七帖

故宮博物院藏 宋拓十七帖

香港中文大學藏 宋拓十七帖

東京国立博物館藏 宋拓定武蘭亭序（呉炳本）

上海図書館藏 宋拓黃庭經（清孫澄之旧藏本）

故宮博物院藏 宋拓晉唐小楷六種（選五種）

故宮博物院藏 宋拓晉唐小楷帖（選五種）

東京国立博物館藏 宋拓十七帖

上海図書館藏 宋拓十七帖

故宮博物院藏 南宋拓王羲之十七帖

故宮博物院藏 宋拓王右軍十七帖

故宮博物院藏 宋拓晉唐小楷六種（選五種）

故宮博物院藏 宋拓十七帖

中国国家図書館藏 潭本十七帖

中国国家図書館藏 清拓戲魚堂刻十七帖

故宮博物院藏 明拓秦中十七帖殘本

故宮博物院藏 明拓展翰閣十七帖

中国国家図書館藏 竹簡十七帖

中国国家図書館藏 鬱岡齋法帖刻十七帖

中国国家図書館藏 式古堂法書刻十七帖

中国国家図書館藏 隣蘇園法帖刻十七帖

東京国立博物館藏 宋拓定武蘭亭帖

東京国立博物館藏 禊帖二種（王曉本・呉静心本）

東京国立博物館藏 国學本蘭亭序（岳雪樓藏本）

上海図書館藏 玉枕蘭亭（豊坊藏本）

上海図書館藏 遊相蘭亭三種

上海図書館藏 褚摹蘭亭序二種

上海図書館藏 宋拓黃庭經（蔡仲藏本）

上海図書館藏 宋拓黃庭經（清郭蘭石旧藏本）

上海図書館藏 宋拓黃庭經（李宗瀚藏本）

上海図書館藏 宋拓黃庭經（明詹景鳳旧藏本）

故宮博物院藏 宋拓黃庭經（強恕堂藏本）

故宮博物院藏 宋拓心太平本黃庭經

故宮博物院藏 宋拓小楷黃庭經（孫楨跋本）

故宮博物院藏 宋拓黃庭經（嘉興沈氏本）

故宮博物院藏 宋拓黃庭經（慎先藏本）

故宮博物院藏 宋拓黃庭經（杜氏家藏本）

故宮博物院藏 宋拓黃庭經（唐翰題記本）

故宮博物院藏 明拓小楷黃庭經

故宮博物院藏 宋拓曹娥碑

故宮博物院藏 明初拓曹娥碑

故宮博物院藏 宋拓小楷王獻之十三行

故宮博物院藏 宋拓王獻之十三行帖

東京国立博物館藏 玉版十三行二種

故宮博物院藏 明拓玉版十三行

故宮博物院藏 明拓玉版十三行小楷冊

故宮博物院藏 明拓十三行集錦冊（選三種）

故宮博物院藏 明拓仏遺教經

故宮博物院藏 宋拓曹娥碑榮毅論合冊

故宮博物院藏 宋拓小面贊曹娥碑二種冊

故宮博物院藏 宋拓晉唐小楷四種冊（選二種）

故宮博物院藏 宋拓晉唐小楷十一種（選五種）

故宮博物院藏 宋拓晉唐小楷十種（選二種）

遼寧省博物館藏 王氏一門書翰（万歲通天進帖）

遼寧省博物館藏 王獻之曹娥誄詩

上海博物館藏 王獻之鴨頭丸帖

上海博物館藏 王羲之之虞帖

天津博物館藏 王羲之之寒切帖

故宮博物院藏 王獻之中秋帖

故宮博物院藏 王獻之之中秋帖

前田育徳会藏 王羲之孔侍中憂懸哀禍三帖

台東区立書道博物館藏 王獻之地黃湯帖

王羲之之遊目帖

プリンス頓大学藏 王羲之之行穰帖

フランス国立図書館藏 王羲之之扇扇胡桃帖

大英図書館藏 王羲之之瞻近龍保二帖

（唐敦煌本臨書）

台北故宮博物院藏 王羲之之快雪時晴帖

台北故宮博物院藏 王羲之之平安何如奉橘三帖

台北故宮博物院藏 王羲之之七月帖都下二帖

台北故宮博物院藏 王羲之之遠宦帖

台北故宮博物院藏 王羲之之大道帖

台北故宮博物院藏 王羲之之喪乱一謝得示三帖

（唐敦煌本臨書）

台北故宮博物院藏 王羲之之懷恨帖

台北故宮博物院藏 王羲之之蘭亭序

台北故宮博物院藏 王羲之之蘭亭序

台北故宮博物院藏 王羲之之蘭亭序

台北故宮博物院藏 王羲之之蘭亭序

台北故宮博物院藏 王羲之之蘭亭序

台北故宮博物院藏 王羲之之蘭亭序

台北故宮博物院藏 王羲之之蘭亭序

世界各地の原本を
新たに撮影し、
原寸大、
カラーで収録。

80セット
限定出版

▼編修 ▲故宮博物院

〔監訳〕河内利治 大東文化大学教授

王羲之 王獻之 書法全集

全十八卷



全18巻揃定価：本体498,000円＋税 ISBN978-4-8433-4758-4 C1371

第一回配本・全六巻

二〇一五年八月下旬刊行

揃定価：本体二六八、〇〇〇円＋税(分売不可)

ISBN978-4-8433-4759-1 C1371

●第一巻 総覧 ●第四巻 法帖

●第二巻 碑刻 ●第五巻 法帖

●第三巻 碑刻 ●第六巻 法帖

第二回配本・全六巻

二〇一五年八月下旬刊行

揃定価：本体二六五、〇〇〇円＋税(分売不可)

ISBN978-4-8433-4760-7 C1371

●第七巻 法帖 ●第十巻 法帖

●第八巻 法帖 ●第十一巻 法帖

●第九巻 法帖 ●第十二巻 法帖

第三回配本・全六巻

二〇一五年九月刊行

揃定価：本体二六五、〇〇〇円＋税(分売不可)

ISBN978-4-8433-4761-4 C1371

●第十三巻 法帖 ●第十六巻 法帖

●第十四巻 法帖 ●第十七巻 法帖

●第十五巻 法帖 ●第十八巻 法帖

〔仕様〕 A3判変型(三八五mm×二五五mm)
線装・経摺装(折り本) / 各巻映入り / オールカラー

〔発行〕 科学出版社東京株式会社

〔発売〕 株式会社ゆまに書房

ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493

http://www.yumani.co.jp/

ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日

王羲之 王獻之 書法全集 全18巻

- 第1回配本・全6巻(分売不可) 第2回配本・全6巻(分売不可)
 第3回配本・全6巻(分売不可)

セット

取扱店

ご注文書

お名前
ご住所

TEL ()

※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。

15.07/01.5,000.FR